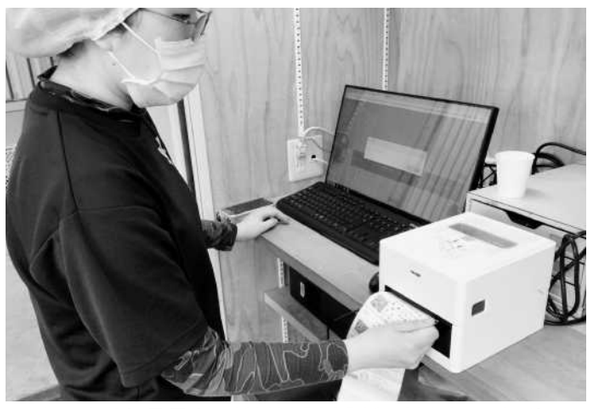
栽培・生産履歴を可視化

くにみ農産加工 一括管理システム提供


クラウドシステム「KUNIMIX」はトレーサビリティーを可視化、一括管理する

【大分】くにみ農産加工（大分県国東市、吉丸栄市社長）は、栽培状況、生産履歴管理（トレーサビリティー）を可視化し、一括管理するクラウドシステム「KUNIMIX」を2025年をめどに全国販売する。現在は大分県内のバジル農家に提供している。26年に米国食品医薬品局（FDA）が法制度化する食品情報の管理にも対応。多様な原材料向けに提供できるよう、食品メーカーやITベンダーと提携する。

くにみ農産加工は農業の1次生産者が負っている説明責任をKUNIMIXを活用することで2次産業が担える仕組みを確立した。国は30年までに農林水産物・食品の輸出額5兆円（23年は1・4兆円）を目指している。また26年以降は原材料の収穫・生産から小売りまで各段階での主要データ要素（KDE）の記録と、食品の流通履歴を示すトレーサビリティーロットコード（TLC）が世界標準化される予定だ。

KUNIMIXはKDE、TLCを2次元コード（QRコード）付きラベルの発行で一括管理する。「小規模農家が食品メーカーと取引する際、安全に関する規格を世界基準で読み解くのは難しい。それを手助けし、持続可能な日本の農業に貢献したい」（吉丸社長）。同社はKUNIMIXが高く評価され、23年度経済産業省「パートナーシップ構築大賞」の中小企業特別賞を受賞した。同賞はサプライチェーン（供給網）の安定化に向けて大企業と下請けが協力するよう求める国の制度に登録した事業者を対象としている。

作業服仕上げ内製化

コーコス信岡 本社工場建て替え

【福山】コーコス信岡（広島県福山市、信岡映子社長）は、広島県福山市の本社工場を建て替える。旧工場の解体工事を始めており、2025年7月の新工場稼働を目指す。外注していた仕上げ工程の内製化や生産や在庫の「見える化」で生産性を高める。投資額は約10億円。

新しい本社工場は延べ床面積約3048平方㍍の鉄骨造り3階建て。1、2階は工場。3階には商品の展示室を現在の本社建屋から移設、年に2回の新製品発表会などを行う予定だ。

ボイラを導入し、仕上げのプレス工程を内製化。併せてボタン付けなどの仕上げ工程も内製化する。

資材や道具の配置、在庫状況などを把握しやすいようにして効率を高める。地域に開かれた工場として、バザーや工場見学なども開催する。同社は作業服大手。

コーコス信岡が広島県福山市に建設する新本社工場（完成予想図）

本社工場は、本社建屋と道路を挟んだはす向かいに位置する。

旧本社工場は1987年に完成した平屋建てで、老朽化したこともあり建て替えを決めた。

新社長

New president

小野薬品工業

滝野（たきの） 十一（といち） 氏

世界中の患者に新薬を

《グローバル化を命題とする会社の方向性と豊富な海外経験を持つキャリアが合致し、社長に指名された》

「相良暁会長から話を受けた時に『巡り合わせだから』という言葉をいただいた。経歴からはサイエンティストと見られがちだが、学生時代から海外や商売に強い関心があった。会社には〝巡り合わせ〟で何度も海外赴任の機会を与えられ、成長させてもらった恩がある。恩返しのつもりで精いっぱい務めたい」

《大型医薬品オプジーボの特許切れをにらみ、海外での自社製品開発を進める。韓国、台湾ではすでに自社販売を行っているが、「真のグローバルファーマ」への次の大きなステップが米国での自社販売となる》

「欧米市場に入るための大切な入り口として米国を設定している。日本で既発売の中枢神経系原発リンパ腫薬の臨床試験を米国で実施している。まず、この承認、発売を目指しており、5合目は越えたと思っている」

「新薬メーカーとして『世界中の患者さんに新薬を届けたい』というのが全社員の夢。実現できれば誇りにつながり、会社に大きな変革をもたらす。たとえオプジーボのような大型品に育たなくても、成長を続けるために持続的に新薬候補を投入し、面を広げたい」

《自由でフレキシブルな動きを理想とし、好きな言葉は「融通無碍（ゆうづうむげ）」「上善水の如し」。週末は愛犬との散歩で身体と気分をほぐす》

（大阪・花岡敬二）

95年（平7）京大院薬学研究科博士後期課程修了、同年小野薬品工業入社。11年執行役員、19年常務執行役員、20年取締役常務執行役員、21年取締役専務執行役員。大阪府出身、56歳。4月1日就任。

長野・佐久に新物流拠点

ヤッホーブルーイング 倉庫容量1.5倍

【長野】ヤッホーブルーイング（長野県軽井沢町、井手直行社長）は同県小諸市にあった物流拠点を「佐久長土呂物流センター」（長野県佐久市）に移転し、本格稼働した。

ヤッホーブルーイングの佐久長土呂物流センター

関連企業や通販受注、物流加工出荷の部署を集約し、作業を効率化する。

旧センターと比べ、倉庫容量は1・5倍、オフィススペースは約2・7倍。投資額は非公表。

佐久長土呂物流センターの延べ床面積は倉庫が約3038平方㍍、オフィススペースは約710平方㍍。拠点移動によりドライバーの年間労働時間を合計約120時間削減できる見込みだ。

積み込みや荷下ろしを行うスペースが軒下にあり、雪などの悪天候の影響を受けない。このため、作業員の負荷低減や、積み込み・荷下ろしの作業の効率化も期待できる。

ヤッホーブルーイングの物流拠点は全国2カ所。長野県のほか、滋賀県彦根市にある。

日本市場参入を支援

未承認薬 スズケン、3社と連携

【名古屋】スズケンと同社子会社の三和化学研究所（名古屋市東区、磯野修作社長）は、EPSホールディングス（東京都新宿区）、武州製薬（埼玉県川越市）と、国内未承認薬の日本市場参入を支援する事業に関するパートナーシップ契約を結んだ。

3社グループが連携することで、日本での開発から製造販売承認申請、製造、販売、物流までを一括で支援する。

従来、日本市場への参入を狙う海外の製薬企業は、日本での開発・商業化に向けた活動を個別で行う必要があった。

今回の連携体制においては、三和化学が窓口となって、スズケングループがスペシャリティー医薬品の流通業務などについて支援していく。

EPSグループは開発支援、武州製薬は治験薬や商用製剤の生産、2次包装業務などを担う。

認知症検査薬 製販承認申請

ロシュ

ロシュ・ダイアグノスティックス（東京都港区、小笠原信社長）は、脳脊髄液（CSF）検体からβ―アミロイドとリン酸化タウたんぱくを測定する検査薬について厚生労働省に製造販売承認を行った。アルツハイマー病の原因とされるたんぱく質について脳内の蓄積状況を調べる検査薬として期待される。高齢化社会で高まる認知症検査ニーズに応えていく。

申請したのは、β―アミロイドを調べる「エクルーシス ベーターアミロイド（1―42）CSF Ⅱ」とリン酸化タウたんぱくを調べる「エクルーシス ホスホ タウ（181P）CSF」の2製品。CSF検査は脳内のβ―アミロイドの蓄積状況を把握するバイオマーカーとして有用とされる。

国内の認知症有病者数は2025年には約700万人に上ると推定されている。また、軽度認知障害（MCI）の患者数は約400万人とされ、認知症の検査の重要性が高まる。

アメニティー

中冨さん

8万人超に感謝

▽…「（設計事務所やゼネコンなどに）180日かけて、8万3193人の方に携わって頂いて完成することができた」と謝意を表すのは、久光製薬社長の中冨一榮さん。

▽…本社や工場がある佐賀県鳥栖市で新研究所「SAGAグローバルリサーチセンター」を稼働。8万超の人数は「鳥栖市の人口（約7万4000人）より多い」のだとか。

▽…薬の形状は経口剤や注射剤が大半だが消炎鎮痛剤「サロンパス」など同社が得意とするのはニッチ分野。「経皮吸収型製剤の魅力を追求していく」と決意も新た。（佐賀）

NEWS CLIP

技術系中堅10％昇給

東急電鉄は中堅技術係員の月額賃金を従来比で最大10・8％引き上げた。鉄道の保守業務の高度化に向けた技術力向上や確実な技術伝承を進めるため、賃上げによって離職を防止する狙いだ。

鉄道エキスパート職は平均で5・7％引き上げた。鉄道現業職の新卒初任給は9月から5％程度引き上げ、私鉄トップクラスの水準とする。鉄道事業の担い手の確保と定着を図る。

また、宿泊手当や深夜手当を増額したほか、鉄道の安定運営に欠かせない労務負荷を伴う業務に対し、高圧手当や粉塵手当などを新設した。

10月から141品値上げ

コカ・コーラボトラーズジャパンは、ペットボトル製品を中心に141品を値上げする。10月1日出荷分から、税抜きの希望小売価格を1本20円引き上げる。原材料価格やエネルギー価格の高騰などが理由。

値上げ率は約5―19％となる。500㍉リットル入りペットボトルの炭酸飲料「コカ・コーラ」は160円から180円に、ミネラルウオーター「い・ろ・は・す」（540㍉リットル）は140円から160円に引き上げる。4月にリニューアル発売していた緑茶飲料「綾鷹」（650㍉リットル）も160円から180円に値上げする。

5ドルメニューを検討

ハンバーガーチェーン大手マクドナルドは、米国内で5ドル（約780円）のセットをメニューに導入することを検討している。節約志向を強める消費者を呼び戻すのが狙い。

匿名を条件に語った関係者によると、マックチキンかマックダブルにポテトとドリンクというセットになる可能性がある。1―3月（第1四半期）決算発表後の電話会議でクリス・ケンプチンスキー最高経営責任者（CEO）は、消費者が価格に敏感になっていることを踏まえると、マクドナルドは「手頃な価格に集中」しなくてはならないと語っていた。（ブルームバーグ）

建設現場で選ばれる注目の製品・技術
企画・構成 ㈱経済情報センター 0120-25-0555
PR